

## 【旭区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 3 日 14 時 30 分 ～ 16 時 00 分
場 所	旭区役所新館 2 階 大会議室
出席者	【座長】大岩真善和 議員 【議員：5 名】佐藤 茂 議員、古川 直季 議員、小粥 康弘 議員、 河治 民夫 議員、木内 秀一 議員 【旭区：36 名】下田 康晴 区長、小磯 行生 副区長、 岡ノ谷 雅之福祉保健センター長、 齋藤 真美奈福祉保健センター担当部長 渡邊 知幸土木事務所長、川村 滋旭消防署長 ほか 関係職員
議 題	【議題】 令和元年度旭区個性ある区づくり推進費の執行計画について 【報告】 1 平成 31 年度予算編成に向けた「区提案反映制度」の項目・対応状況一 覧について 2 旭プール改修工事に伴う休館等について 【その他】 旭区読書活動推進目標の改定について

【議題】

1 令和元年度個性ある区づくり推進費の執行計画について

河治議員：「都心直通化を契機とした駅周辺まちづくりに関する基礎調査」について、昨年 11 月に改訂された都市計画マスタープラン旭区プランでは、希望ヶ丘駅周辺において、「沿道の賑わいを確保しながら歩行空間を改善し、南口駅前広場空間の再編を鉄道事業者と連携して進める」、改札の増設や交差点の交通環境の改善については、「駅周辺と合わせて総合的なまちづくりを進める」などとあるが、本事業の基礎調査との関係はどのように整合性があるか。

中村区政推進課長：昨年度、都市計画マスタープラン旭区プランを改定したが、駅前ロータリーが狭小化しており、車と歩行者が交錯して大変危険であるなど希望ヶ丘駅周辺に様々な課題があることは認識しており、マスタープランを基にまちづくりに着手しようということで、まちづくりの検討材料になるような調査を進めていく。

発言の  
要旨

河治議員：あくまでもマスタープランがベースになって、相鉄、JR 直通線の開業を踏まえて、まちづくりの調査をするということだが、希望ヶ丘駅周辺については、地域の方から交通事情が危険だという声を聴いている。土木事務副所長に相談しており、タウンミーティングをしないと方向性が出ないということだがそのあたりの認識を伺いたい。

中村区政推進課長：タウンミーティングでも駅前ロータリーの話は出ており、スクールゾーンも危険だという声も聴いている。今まで出た課題も含め、基礎調査では地域の方々のヒアリングも行うので、その意見を伺いながらこの調査を進めていきたい。

河治議員：駅前ロータリーだけでなく、周辺一定区域を含めた形の方向性を示すべきではないか。

中村区政推進課長：今回の調査は駅周辺だけでなく、希望ヶ丘地区 3 連合の皆さんとも意見交換しながら調査していきたい。

河治議員：町の整備の方向性として出てくるのは、一定期間かかると思うが、大きなスケジュールはどうなっているか。

中村区政推進課長：今年度は基礎調査を行い、まとめたものを地域の方に共有しながら、具体的なまちづくりを来年度も継続して進めて

いきたい。

河治議員：まちづくりそのものの大きなスケジュールはどうなっているか。いつ頃までというイメージを持ちたいが、どのくらいのスケジュールを想定し話合われているのか。

中村区政推進課：まずは基礎調査ということで進め、区のプランとしては20年の未来を想定したもので、先を見据えスケジュールを立て進めていきたい。

河治議員：わかりました。テンポを上げていただきたい。

自治会町内会活動支援事業について、加入を増やしていかななくてはならないと思うが、全体的にどういう状況か。加入を増やすためにはPRだけでなく、具体的に地域とも話して、加入促進する必要があると思うがどうか。

神田地域振興課長：加入の問題は、自治会町内会、連合自治会では、それぞれの地区に合わせた取組をしている。区役所も一緒になって取組を実施しており、区では地域活動のしおりの配布やパンフレットを、防災の面を特に強化してほしいとの意見をいただいていることもあり、そのように変更する予定である。また、区民祭りやイベントでの啓発、広報よこはま4月号でのPRを行っている。加入率は横浜市は73.4%、旭区は78.9%となっており、去年より0.8ポイントほど下がっている。これからも引き続き自治会町内会と手を組んで展開していきたい。

河治議員：地域の交流を通じPRだけでなく、具体的な案の支援を通じ、加入促進につなげてほしい。

SDGs 未来都市地域主体型事業について、若葉台団地における地域・企業・行政による協働事業だが、この地区は、高齢化率は高いが、要介護認定、要介護支援率が低いことが評価されている。若葉台の教訓を、どうやって旭区全体に進めていくか。またそれぞれの自治会でおかれている状況が違い、その問題点を追及していると思うがその実態はどうなっているか。

中村区政推進課長：この事業では若葉台団地と左近山団地における取組を進めている。若葉台団地においては、高齢化率が高くても健康を感じている方が多いという調査も出ている。地域の活動が複合的な課題をいろいろなパートナーシップで解決につなげるという、まさにSDGsを具現化している取組と考えている。

本年度は、取組の成果をまとめ他の地区に展開していくよう進めている。

河治議員：若葉台地区は、一帯の団地の中で連合、自治会町内会のすべての自治会活動への参加がさらなる活動に広がり、それが健康につながっている。他でも前進しているところはあると思うが、こうした先進的な取組から学び、地域住民が元気で活力を持つことが地域防災にもつながるため、こうした取組が必要だと思う。よろしくをお願いします。

小粥議員：ウォーキングムーブメント創生事業について、ウォーキングコンテンツ整備、インターネットを活用して発信するということが、2つのモデルコースを選定した理由は何か。また、以前地域ケアプラザを回るツアーがあったと思うが、人気が高かった。このようなことを通して地域の魅力を発見することはいいことだと思うが、インターネットを利用してどのように発信するのか、ガイドマップはいかに多くの方に知らしめるかを伺いたい

小河内福祉保健課長：ウォーキングコンテンツ整備は、モデルコースを2つ用意しているAコースは、鶴ヶ峰から里山ガーデンまで景色の良いところを歩ける比較的長いコース。Bコースについては、二俣川駅からこども自然公園までのどちらかといえば街中を歩いて公園までの短めのコースとなっている。それぞれの良さを感じていただきたい。このコースの中に見どころを発信していきたい。ガイドマップについては、若い子育て世代の運動習慣の少ないお母さん方をターゲットに作りたいと考えている。

地域子育て拠点に来ているお母さん方に意見を聞き、反映させ使いやすいマップを作りたい。マップは、ダウンロードできるようにし、情報をホームページに載せる。地域ケアプラザを回るツアーは今年も行う予定だが、それとは別にマップを作成する。

小粥議員：非常にいい取り組みだと思う。Aコースのふるさと尾根道緑道は、一般の家の前を通るがもう少し工夫ができないか。地域ケアプラザめぐりはタオルを最終的に配っていて好評だった。この活動のように、インセンティブとなるものはないのか

小河内福祉保健課長：現在検討中です。ご意見をうかがいながら考えていきたい。

小粥議員：ぜひ頑張っていただけたらと思う。地域ユースプラザ事業について、移転は現在どのような形で進められているか。

広報・PRは、どのようになっているか。

高橋学校連携・こども担当課長：地域ユースプラザは、4月から二俣川駅隣の二宮ビルをすでに契約し、改装の中身を検討している。6月に改修工事を行い、7月に最終チェックをし、保土ヶ谷の前施設を原状回復し、開館は7月末を目指している。広報としては、開館に先だって、区連会や広報よこはまなどで周知していきたい。

こども青少年局の広報としては、西部ユースプラザ自体で地域での様々な広報や二俣川近辺で広報を進めていく。

小粥議員：二宮ビルはどこにあるか。利用登録者数、1日の利用者数は何人か。駅近くになり利用しやすくなるのはいいことだと思うが現在の利用の実態は、どのようになっているか。

高橋学校連携・こども連携課長：二宮ビルは、ライフの真横で鶴ヶ峰側のビル。登録人数は、旭区は30年度12人、西部エリアでは45人。1日あたりは把握していないが参加人数は多いときで20人くらいと聞いている。

小粥議員：よくわかった。移転後、ビルの内部や利用状況などを確認させていただきたい。

佐藤議員：旭区誕生50周年記念事業について、こども写生大会は第7回アフリカ開発会議横浜開催推進事業と銘打っているが、以前から実施しているのか。

神田地域振興課長：こども写生大会については、以前から実施している。ズーラシアを舞台にして、青少年指導員が中心となってやっている。6月初旬に親子で楽しめるイベントとして参加人数はおおむね200人を想定、今年は50周年ということで300人を想定している。アフリカ開発会議の費用から画板などを用意し、参加者に参加賞も渡す。去年は5月末で運動会などとも重なって残念との声もあり、今年は日付をずらした。

佐藤議員：募集は青少年指導員を通じて行っているのか。どのような方法か。また、どんな参加賞か教えてほしい。

神田地域振興課長：募集の広報については青少年指導員にも協力いただいているが、ホームページや広報よこはまでもやっている。参加賞についてはこれまで、写生に使うクレヨンをそのままプレゼントしていた。今年は、あさひ君グッズに加え、ズーラシアのアフリカの動物のぬいぐるみを予定している。

佐藤議員：募集はホームページや青少年指導員を通してのみで、学校を通して募集することはないのか。

神田地域振興課：学校からの応募は聞いていない。基本的には青少年指導員等を通じてやっている。

佐藤議員：ジャズ祭りについて、昨年度の来場者数は 1600 人ということだが、一番来場者が多かった時は何人か。会場のキャパシティはどのくらいあるのか。

神田地域振興課長：広さについては、何ヘクタールかはわからないが通常の野球場の観客席を含まない内外野と同じぐらいの広さがある。

例年観客だけではなく、スタッフ、主演者も含めおおむね 2200 人の参加となっており、一番多かったのは 27 年度で芸能人枠の参加があったため 2700 人だった。

佐藤議員：一番多い時でもぎゅうぎゅう詰めというわけではないのか。

野球場だと 1 ヘクタールだがそこに 1 万人入るとかなり混み合う。2200 人だとどのくらいなのか知りたい。

神田地域振興課長：27 年度に参加していたが、グラウンドに腰かけて余裕はあり、すごく混んで危ないということはない。

佐藤議員：相鉄ロックオンミュージックが計画に入っているが、昨年の来場者数は何人か。

中村区政推進課長：資料が手元にないので確認し後日回答する。

佐藤議員：小学生の絵画コンクールについて他の事業の中で説明されているか。どういう事業か伺いたい。

中村区政推進課長：絵画コンクールについては、昨年度 12 月から 1 月まで作品を募集し、すでに大賞などを決定し、その作品を 6 月 1 日から 10 日まで二俣川のジョイナステラスで展示している。

佐藤議員：初めて行われたのか。

中村区政推進課長：初めて実施している

佐藤議員：他のページでの説明はないのか。

中村区政推進課長：別には説明していない。旭区誕生 50 周年記念事業の一覧の中で記載している。

佐藤議員：引きこもりに関わるとされる事件が起き、マスコミでも取り上げられている。引きこもり等の若年層の相談が旭区は本市平均を下回っているとされているが、行政区の平均値はどれくらいなのか。旭区で引きこもりとされる若年層はどのくらいいるのか。

大井生活支援課長：若年層の相談数が下回っているのは、生活困窮の相談に関わる件数である。引きこもり相談については、30 年度全市では約 1200 人で、生活支援課、高齢障害支援課、こども家庭支援課で相談を受けている。旭区はだいたいその 1 割程度。

佐藤議員：生活支援相談を受けている人、支援を受けている人以外で、家庭に引きこもり親が面倒を見ている大人の引きこもりがどの程度いるか把握できているのか。

大井生活支援課長：引きこもりの予想数は手元に数字がない。相談件数は、39 歳までと 40 歳以上の数字をとっている。若干 39 歳までが多いが、40 歳以上の引きこもりの問題も大変重要だ。

佐藤議員：3000 部のパンフレットを作成し、引きこもり経験のあるお笑い芸人をよび公会堂で講演会を行うことは、興味を持たれる方もいると思うが、実際にはどれだけの人がネットで見て公会堂まで来てくれるか想像がつかない。引きこもりの問題は、簡単ではないと思うが解決策を講じてほしい。

クリーンタウン事業で、町内会、商店街、区の方が隔月で美化推進事業重点地区を清掃してもらい感謝している。商店街、町内会で何人くらいの方がボランティアでやってくださっているか。鶴ヶ峰駅周辺を福祉団体にやっていただいているとのことだが、団体名をできれば教えてほしい。

白井資源化推進担当課長：この事業は、美化推進重点地区として鶴ヶ峰と二俣川周辺を毎月清掃している。二俣川地区は商店街からは 2～3 人、資源化推進係長と一緒に土曜日に清掃している。鶴ヶ峰駅周辺地区は区の職員が多く参加させていただいている。その他自治会、環境事業推進員の方とともに実施している。商店街の方の参加は、お声がけの仕方が自治会、環境事業推進員としてなので、具体的な人数は把握しておりません。福祉団体

は、白根学園に委託している。

木内議員：土木事務所には、常日頃さまざまな要望にお答えいただき、この場を借りてお礼を申し上げます。瀬谷区の方から聞かれたが、上瀬谷通信施設の跡地で花博の誘致が検討されているが、どのような形で有効活用していくのか、ビジョンがあれば聞かせてほしい。

中村区政推進課長：土地利用の方向性については、現在農業振興ゾーンと土地活用ゾーンに区分して検討している。と聞いている。

木内議員：これからということまで理解した。ありがとうございました。

古川議員：「都心直通化を契機とした駅周辺まちづくりに関する基礎調査」について、都市計画マスタープラン旭区プランに載っている希望ヶ丘駅の三ツ境方面に改札を作ってほしいという要望を10年以上前に相鉄に対し行ったが、難しいという回答だった。街の意見として、改札を作ってもらいたいという意見はまとまっているのか。まとまったからマスタープランに入っていると考えていいのか。

中村区政推進課長：都市計画マスタープラン旭区プランについて記載されている経緯については、調べて後日回答する。

古川議員：いずれにしてもしっかり調査していただきたい。希望ヶ丘駅前については、交通事情に問題があり、商店街の賑わいもなくなっている。地元の意見を聞いて、しっかり調査していただきたい。

佐藤茂先生から指摘のあった事件について、引きこもりで悩みを抱えている方に対し、当局も考えて前から対策を講じていると思う。こういったことがあって以前から思うのは、人と人はつながらなければならないということだ。ウォーキングムーブメントはとてもいい事業だと思うが、これを例にとれば歩く人がたくさん増え、ウォーキングフレンズ事業でもウォーキングを推進する人材を作る、人と人をつなげるコミュニケーションスキルを人の輪をつなぐような人材を作る。相鉄ロックオンミュージックでも人が集まるだけでなく集まった人同士がつながるようなことを行政に考えてほしい。引きこもり対策もなかなか難しく、相談も西部ユースプラザで45人ということだったが、通ってくる人はいいが、通わない人たちが潜在的に



たくさんいる。策はないけれど人と人がつながって隣近所が顔見知りであいさつするような街にしていかなければならない。すべての事業が人と人がつながれるように結び付けるところまでやらなければならない。本来の政策とはずれるが、区役所が音頭を取って自治会町内会やいろいろな団体にそういう意思を区として進め、職員もコンプライアンスの問題があるが、しっかり宴席にも顔を出してそういうことしたほうがいいと思う。

下田区長：同感だ。ただ最初に申し上げるとすれば、旭区では、19 連合に地区代表が入り、タウンミーティングに区長も入って総出で対話をしており、かなり限界に近い。交流をかなりしている点で珍しい区だ。それは地区の温かさであることを承知している。ウォーキングムーブメント事業についてもそうだが、つながりがあること孤立させないことが今旭区にとって重要なこと。なぜかといえばこれから 10 年で団塊の世代が 80 代に入っていく。2030 年高齢者の数が一番多い区で単身世帯化が進んでいき、孤立化が進む。40 代 50 代の氷河期世代の引きこもりが多いといわれる中でいかに把握できるか。その中でウォーキング、スポーツが重要になる。相鉄にも踏み込んでいく。この方向性を実現していきたい。ぜひ応援していただき、もっと工夫ができることがあればアドバイスいただきたい。どうぞご協力をお願いします。

古川議員：どうもありがとうございます。

放課後児童クラブは今年が耐震基準適合の最終年となっているが、旭区では全ての放課後児童クラブが耐震基準に適合できているか。

高橋学校連携・こども担当課長：令和元年度末までに放課後児童クラブの耐震基準と面積基準をクリアしていく目標で局と連携してやっている。6 か所、どちらかの基準に合わないところがあるが、年度末までには解消又は方向性を決めることになっている。

古川議員：どうもありがとうございます。安心している。

職員の努力に感謝申しあげたい。

河治議員：昨日四季めぐり号が再開されてよかった。旭区の高齢化が進み、交通不便地域の多い中で走らせたいところがたくさんある。

	<p>実証実験が始まったが、本格運行につながればいいと思う。他のところでも走らせたい要望もあるので、個性ある区づくりとしてやってほしい。</p> <p><b>【報告】</b></p> <p>1 平成 31 年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧について (質疑なし)</p> <p>2 旭プール改修工事に伴う休館等について (質疑なし)</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>旭区読書活動推進目標の改定について</p> <p>河治議員：旭図書館は、保土ヶ谷図書館と交通の利便性に差があると思うが利用者は、保土ヶ谷図書館と比べるとどうか。</p> <p>川俣読書活動推進課長：利用者数は年間で、旭区は約 27 万人、保土ヶ谷は約 30 万人、1 日あたりは 790 人台となっている。</p> <p>河治議員：二俣川駅の図書館の取次など、良い取組だと思うが、利便性が悪いので、それに変わる何か施策を考えているのであれば教えてほしい。</p> <p>川俣課長：立地は不便だが逆に静かに読めるという方もいる。 将来的には、鶴ヶ峰の再開発も念頭に置いて、立地については検討していきたい。市内の図書館で 430 万の本を予約して取り寄せることができるので、そのような制度を使用していきたいと思う。</p> <p>河治議員：利用しやすい環境をぜひ作っていただきたい。</p>
備 考	<p>会議の議事録作成については座長に一任で異議なし。</p>